

平成21年度学校評価 宮崎県立都城西高等学校 自己評価及び学校関係者評価

評価 A・・・よく出来た B・・・まあまあ出来た C・・・あまり出来なかった D・・・全く出来なかった

	重点目標と領域	具体的方策	自己評価	成果と課題	関係者評価
管 理 者	【新学科】の設立 特色の検討 PR活動	①新学科設立に向け、最大限の努力をする。西高の切り札としての認識。 ②新学科の特色・取り組み内容についてNCP委で徹底して議論する。 ③中学校へのアピールを頻繁に行い、工夫したプレゼンを行う。	A A A	①7月に新学科「フロンティア科」が認可され念願が叶った。しかし責任も重い。 ② 魅力ある新学科をめざし「売り」を県教委やNCP委でよく議論した。目玉である探究学習については検討委を設け議論を重ね、概要を示せた。 ③大変だったが管理職・NCPのメンバーで満足のできるPR活が出来た。中学生の志望状況を見ると効果も表れている。	A
	【西高タイム】の充実 講座の充実 自学の充実	①学年主任と連携して講座内容の充実を図る。 ②講座以外（自学自習等）を通じて宅習の習慣化を図る。 ③45分授業の確立を図る。内容の精選に努め、全科目3年の11月中での終了を目標とする。	B C B	①学年主任には常々西高タイムが本校改革の柱であることを訴えてきた。本年度は1・2年の時間帯も揃い、昨年より充実度は増した。 ②約半数の生徒が自学自習を選択している。講座選択生が減少傾向にあり、自学で課題を済ますため、自宅学習が増えていない。 ③精選・重点化は常々お願いしているが、教科によっては厳しい状況もある。全科目3年の11月中での教科書終了ほぼ達成できた。	B
	【組織の活性化】 評価の実施 授業力向上	①各種評価（学校評価、保護者評価、自己評価）活用した組織の活性化に努める。 ②研修会への参加、公開授業、生徒授業評価による授業力向上を図る。 ③部活動の活性化を図る。	B B C	①学校評価（生徒・保護者・職員）と職員の自己評価の実施と分析を行った。分析結果についてはその都度職員に示し、意識向上を図っている。 ②生徒の授業評価や教科総合訪問は授業力向上に役立った。学期毎の公開授業はややマンネリ化している。内容を深めたい。 ③部活動の活性化はまだまだ不十分。時間がかかる。	B
	【広報活動の充実】 PR活動 50周年に向けて	①学校便りを定期的（2ヶ月に1回）に発行する。 ②情報部と連携し、HPの充実・更新に努め、HPを積極的な情報発信の場とする。 ③2年後の50周年に向けて、校内に準備委員会を設立し、同窓会と連携しながら準備を進める。	A A B	①学校だよりは年間6号発行を目標にしている。生徒・職員への配付、HPへの掲載、拡大版の掲示を行っている。 ②昨年情報部を増員し、HPも昨年に比べかなり充実し、外部の評価も高まっている。PTA・同窓会HPとも連携を図りたい。 ③同窓会事務局と関係を取りながら動き出すことができた。	A

教務	【学力向上】	<p>①45分授業及び西高タイムの充実を図り生徒の学力アップと同時に部活動の活性化を実現する。</p> <p>②生徒理解月間や進路目標達成月間の利用を十分に使い生徒の進路実現に向けて努力する。</p>	B	①今年度は県教委の教科総合訪問にあわせて45分授業の工夫と実践および反省が行われたので、例年よりも充実した研修ができたのではないかと思います。西高タイムについては、導入2年目で昨年の反省の上に立って計画し実行に移してきたのだが、係りの負担に比べて生徒の講座選択数が減っているので、今後の課題となった。来年度は年間計画をしっかりと立ててさらに充実した形で実行できると良いと思う。	B
	【PR活動の推進及びフロンティア科の教育課程の研究】	<p>①校内外における高校説明会の充実と、フロンティア科のPR活動を積極的に行う。同時に、フロンティア科の教育課程についても研究してよりよいものを完成する。</p> <p>②オープンスクールの充実と、全職員協力して中学校訪問・塾訪問を行う。</p>	A	①中学校へ訪問は昨年の2倍以上行ったうえに、管理職にも行っていただいた。塾へも昨年以上に訪問して西高のアピール（とくにフロンティア科）は行えたと思う。今後、カリキュラムの研究も十分に行っていく。	
生	【基本的生活習慣の確立】	<p>①服装容儀を徹底させる。</p> <p>②規律ある生活習慣を確立させる。</p> <p>③交通ルールの遵守、身の安全の確保に努める。</p>	B	①大部分の生徒はきちんとしている。しかし、切符4枚で特別指導になった生徒が4名もいた。継続した指導が必要である。黒ストッキングの着用を今年から許可した。きちんとした着こなしを指導していく。	B
			B	②飲酒、万引き、カンニングなどの問題行動が発生した。未然に防ぐよう注意喚起したり、巡回指導を実施しているが、減少に至っていない。	
指	【自主性の育成】	<p>①生徒会活動および各種委員会の充実と活性化</p> <p>②部活動の振興・充実と活性化</p> <p>③ボランティア活動の充実</p>	B	③交通事故が20件発生した。再三、注意を呼びかけているが、昨年度より増加している。防犯ベルを全生徒に携帯させた。下校時は複数で帰ることを徹底させていきたい。	B
			A	①定期戦、クラスマッチ、葵碧祭など積極的に生徒が参加した。各種委員会の更なる充実を図っていきたい。	
			C	②部活動加入率が60%と低い。勉強との両立は難しいと感じている生徒が多いのであろうが、部活動をやることの意義や成功した先輩たちの話を紹介するなどして、積極的に参加させたい。	
			B	③参加者数は多いが、参加する生徒が固定化する傾向がある。また、圧倒的に女子が多い。これまで参加したことがない生徒に呼びかけていきたい。	

進路	【進路意識の醸成】	①生徒の進路希望を把握し、各種調査の分析と活用をする。 ②進路情報の収集と整備、および適正な情報の提供をする。 ③自己理解に基づく望ましい職業観・主体的な進路選択の育成をする。	B B B	①進路意識調査・スタディーサポート・希望進路調査等で生徒の意識や実態を把握し、進路目標達成のための具体的なアドバイスや面談の手助けを行った。 ②情報誌・大学等の最新情報等を学年会を通して生徒に示すことができた。 ③職業講座・出前講座を実施し、キャリア教育を行った。	B
	【具体的指導方法と研究】	①課外（朝・午後・土曜） ②実力テスト・対外テスト	B B	①学年会と連携しながら、計画的に実施した。午後課外は西高タイムと連動させ、教科・講座のバランスをとった。 ②計画通り実施した。対外テストについては、結果を分析し今後の指導に役立てたい。	B
環境保健	【保健関係】 健康指導	①定期健康診断を計画的に実施し、検診後に受診のすすめを配布してその結果の提出を行う。特に検尿については、提出率100パーセントを目指す。 ②保健委員会を充実させ、健康観察や病気予防対策を行う。	B B	①再診の受診提出が依然として悪い。しかし、数値目標の検尿提出率100パーセントを達成することができた。 ②新型インフルエンザ流行に伴い、予防対策や健康観察を長期間実施した。	B
	【環境関係】 美化指導	①清掃活動を充実させるとともに、ゴミの持ち帰り、分別、減量化の推進を図る。 ②美化委員会を充実させ、校内美化活動（校内ゴミ拾い）やゴミ袋持参調査を実施する。	B B	①ゴミ分別、減量は成果を上げているが、ゴミの持ち帰り、自主的な清掃活動が課題である。 ②美化委員の美化意識は高まったが、全校生徒までは至っていない。	B
図書	【読書活動の推進】	①朝の読書の徹底を図る。 ②LHRを利用して、集団読書を実施する。	B B	①ほぼ順調に実施されたが、担任・副担任の二人指導体制が徹底されていない学級があるようだ。 ①ほぼ計画通りに実施できたが、予定通りに実施されない学級があった。	B
	【図書館利用の促進】	①図書館利用週間を設定する。 ②小論文、面接試験のための新聞スクラップの充実を図る。	A A	①国語科の協力で予定通りに実施でき、多くの貸し出しを行うことができた。 ①着実に増加し、3年生の利用が多かった。	B
渉	【PTA活動の充実】 総会出席率90%以上	①欠席者集会の実施 総会前と後に欠席者集会の案内を配布することで、参加を徹底して呼びかける。	A	①総会…762（出会691、委任71）名／827名参加、92.1%の出席率であった。欠席者集会には39名の参加。欠席者集会の出席者がもう少し増えて欲しい。	

外 広 報	公開講座の実施	②FMCとの連携を図りながら、土曜の公開講座の参加者を募る。文書配布の時期を工夫する。	B	②先生方の協力で、3回の「土曜の朝」を計画。1、2回目は、1、2学期の学年PTA総会時に案内を配布したが、参加者が少なかった。FMC会員に再度案内を配布し、参加者を確保した実態あり。案内方法に工夫が必要。	A
	会報「葵碧」を通じた広報活動	③配布地区を分け、公民館を通じて地域の各家庭に「葵碧」を配布する。	A	③発行部数と地区役員さんの関係で調整。市内のほとんどの家庭に一回は届いたはず。	
	【職員の福利厚生】 職員の福利厚生と融和・親睦を図る	①「月番」の協力を得て、歓送迎会を含む、各交流会、レクリエーションで、職員の親睦をはかる。	B	①各会、担当の月番の先生方には、準備等ご協力をいただき感謝しています。定期考査時のレクリエーションは、予算立てが出来ていない。来年度は考慮する。参加者が固定している感あり。	B
情 報	【情報環境充実】	①校内では成績処理システムの確立、校内 LAN の環境整備・充実、各校務分掌の情報業務の支援・協力を務める。	A	①現状のある多種多様な情報処理は、ほとんどが順調に処理できた。特に今年度はネットワーク環境の改善が求められ、業者と連携して充実を図ったが、改善できない点があり、今後の課題である。また、新規導入のコンピュータも多くあり、設定で全体の運営を再検討する必要がある。また、情報漏洩にも配慮し、システム上の設計だけでなく、先生方への注意喚起も取り組めた。	B
		②校外では本校 PR 活動における多角的な方策の立案として、ホームページの充実、中学校向けの学校紹介プレゼン・DVD の作成に努め、かつ個人情報の保護対策を検討する。	B	②各種行事から時間差のない本校 Web ページ更新、学校紹介のプレゼン・DVD の作成に努めた。特にフロンティア科の広報を検討したが、説明・内容不足が反省点で挙げられ、今後より一層の充実に努めたい。	
事 務	効率的かつ効果的な予算執行	①効率的かつ効果的な予算の執行に努めるとともに、施設・設備の保全管理、充実を図る。 ②授業料等の納期内納入促進に努める。 ③環境に優しい物品の購入や省エネ対策を推進する。	B A B	①老朽化に伴う施設・設備の改修にも取り組めた。トイレの破損、詰まりによる修理等など、使用に問題のあることを全体に呼びかけの全校的な問題に出来た。多数の業者を競争させることにより効果的な予算の執行が出来た。 ②目標である 95 %をクリアし、98%で達成できた。授業料等の長期未納者への対応方法が課題がある。 ③宮崎県地球温暖化対策実行計画チェックによる退庁時の電源オフは 100% 実行できているが、昼休みや残業時の消灯評価は3（60%実行）と低いので啓発を呼びかけたい。	B
	接遇の向上	①適切な文書管理に努め、県民の開示請求に的確かつ迅速に対応していく。 ②学校の窓口としてよりよい接遇を心がけ、開かれた学校づくりを進める。	B A	①要望は0でした。県のファイル管理に沿った方法で取り組む努力をする。 ②窓口・電話等、相手の立場に早急に対応した。	

1 年	<p>【生徒指導面】</p> <p>【学習指導面】</p> <p>【進路指導面】</p>	<p>①基本的な生活習慣(時間の厳守・服装容儀・礼儀作法等)を早期に確立し、本校生としての自覚と誇りを持たせる。</p> <p>②授業を大切に、意欲的かつ継続的な学習習慣を身につけさせ、基礎学力を充実させる。</p> <p>③個の特性を活かした幅広い視野の育成に努め、自己理解に基づいた進路目標を早期にもたせる。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>①遅刻指導については、朝課外の挨拶を兼ねた指導、服装容儀については学年集会時や常時指導で徹底を図り、礼儀作法については新入生オリエンテーションで基本的な指導、その後は常時指導を行った。どの項目も学年団全員の協力を得て実施できた。一部の生徒を除いて良好である。</p> <p>②各教科担任の先生方の指導により、授業態度は良い。しかし、課題の提出状況が一部の生徒で悪く、学年で居残り指導を行うなどして、生徒に根負けしない指導を行い課題提出の徹底を図った。西高タイムについては、どの先生方も非常に熱心で講座を選択している生徒も意欲的である。中位層の学力向上を今後の課題にしていく。</p> <p>③担任・副担任の連携で二者面談・三者面談を行い、得意・不得意教科に対するアドバイスや希望する将来の職業など、生徒の意向を生かした文理選択の指導ができた。IGIの小論文指導については、担当が無理なく取り組める指導案の作成によって、段階的に取り組み効果的であった。職業講座・出前講座などは、学年団全員が役割を分担し、生徒のモチベーションを引き上げるのに有効であった。</p>	B
2 年	<p>【生徒指導面】</p> <p>【学習指導面】</p> <p>【進路指導面】</p>	<p>①規律ある生活態度を育成し、主体的に幅広く本校中核学年としての責任を持った行動ができる積極性を高める。</p> <p>②授業を大切に、意欲的で計画性のある学習態度や習慣の育成と基礎学力の一層の定着を図る。</p> <p>③科や類型の特性、生徒一人ひとりの進路目標に向けて具体的な進路指導の充実を図る。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>①月に1度の容儀指導や各行事、修学旅行等を通じて自ら考え動く生徒の育成に努めてきた。大半の生徒は成長が認められたが、一部の固定された生徒がまだまだである。</p> <p>②朝課外、授業、西高タイム等を通じて先生方のきめ細かな指導のおかげで随分中堅層、上位層の伸びは見られた。しかし、①同様に下位層の生徒が固定しつつある。</p> <p>③三年生に向けて、担任には細かな面談等実施してもらい、また、学年団の先生方全員に「総合的な学習の時間」を通して指導してもらった。その成果で、3年生になったの類型登録がスムーズにできた。</p>	B
3 年	<p>【生徒指導面】</p> <p>【学習指導面】</p> <p>【進路指導面】</p>	<p>①規律ある生活態度を育成し、最高学年としての自覚と誇りを持たせる。</p> <p>②自主的な学習態度を育成し、生徒それぞれが自己の進路目標を達成できるように、学習指導の充実をはかる。</p> <p>③類型・学科の特性や個性に基づき、生徒一人ひとりの自己実現に向けて、進路指導の</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>①一部の生徒について、学年最後まで容儀指導等に苦慮し、その対応に追われてきた。その一方で、朝課外等の遅刻は少なく、先生方の指導の成果が顕著であった。</p> <p>②宅習調査等の結果を、学年での統一指導に活かすことができなかつた。しかし、放課後の課外や土曜のSS等で各教科での講座を開講してもらい、生徒個々の学力や学習状況には細かに対応していただいた。</p> <p>③上記②の各種講座の開講や、小論文・面談指導、さらに年間を通しての個人面談等の指導に細かに取り組んでもらった。また、そ</p>	B

		充実をはかる。		の成果も良好であった。	
外国語科	【授業研究の推進】	①英語ディベートを授業で行い、授業方法について研究する。	B	①2年生の代表チームが県大会のベスト4に残った。1年生は、県のディベート大会の決勝戦を観戦に行った。1,2年生は保護者にも観戦していただいた。ディベートに対する生徒の取組が年々向上している。2人のALTの協力も不可欠である。	B
	【資格取得の推進】	②学年ごとに数値目標を設定し、実用英語検定の取得を目指す。	B	②西高タイムを利用して、英検の講座を実施した。しかし数値目標の達成には一層の努力が必要である。	
	【各行事の充実】	③英語ディベート大会、海外語学研修、イングリッシュ・アドベンチャー、外国語科生集会、などを行う。	A	③特に、海外語学研修は充実しているようで生徒の意識が高揚が見られている。様々な行事をさらに充実させて帰属意識を高め、学習に取り組む意識を高めていきたい。	